

NTゴムシートバインダー

特長

・加硫ゴムシートを撤去せずにウレタン防水材で改修できます。

加硫ゴムシートを撤去せずにウレタン防水材で改修することができるので、廃棄物の発生を最小限に抑えることができます。

・保護塗料の層間プライマーとして、ご使用頂けます。

加硫ゴムシートと水性保護塗料の層間プライマーとしてご使用頂けます。

用途

加硫ゴムシート・カラーゴムシート(EPDM)の改修用プライマー

(注意事項: 塩化ビニル系シート、非加硫ゴム系シート、その他の防水材には対応できません)

荷姿 (6kg セット)

製品名	入目	荷姿	消防法分類
NT ゴムシートバインダー 主剤	4kg	4L 缶	危険物第四類第一石油類
NT ゴムシートバインダー 硬化剤	2kg	2L 缶	危険物第四類第二石油類

性能

項目	主 剤	硬化剤	混合物
主成分	エポキシ樹脂	アミン、ポリチオール	———
混合重量比	2	1	———
外 観	淡黄色透明	褐色透明	淡黄褐色透明
密 度 (Mg/m ³)	1.04±0.05	1.20±0.05	1.09±0.05
粘 度 (mPa·s)	1~20	1,000~3,000	10~40
可 使 時 間	1 時間以内/23℃		
乾燥時間	指触乾燥: 3 時間/23℃、硬化乾燥 12 時間/23℃		
硬化物外観	淡 黄 色 透 明		
加硫ゴムシートへの 接着強さ (N/mm ²)	1.3		

※上記試験結果は代表的な測定値のため、保証値ではありません。

下地処理

- ・ゴムシートの剥がれや異常部は、除去または、補修を行ってください。
- ・脆弱なトップコートが残存している場合は、高圧水洗などで除去してから施工してください。
- ・ゴムシートがチョーキングしている場合は、チョーキングを除去してから施工してください。

使用方法

- ①NT ゴムシートバインダー 主剤と硬化剤を 2:1 の比率で混合してください。
- ②ローラー、刷毛でシートにNTゴムシートバインダーを溜まりができないように塗布してください。
(標準塗布量 約0.1~0.2kg/m²)
- ③3 時間~7 時間程度養生し、指で触わって、べたつきがないことを確認してください。
- ④<防水層を被覆する場合> プルーフロンシリーズなどのウレタン防水材を施工してください。
<保護塗料を被覆する場合> ルーフガード各種を施工してください。

取り扱い上の注意事項

- ・施工中は、必ず保護手袋、保護メガネ、保護マスクなどの保護具を着用してください。
- ・誤って眼に入った場合は、大量の流水で洗浄し、直ちに医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に直接接触した場合は石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化がある時は直ちに医師の診断を受けてください。
- ・中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- ・詳細な内容は、警告ラベル、または化学物質等安全データシートをご参照ください。
- ・保管は必ずフタをし、凍結を避け直射日光の当たらない場所に保管してください。
- ・NT ゴムシートバインダー主剤・硬化剤は引火性があります。火気のある所では絶対に使用しないでください。

* 製品改良のため、仕様など予告なしに変更する事もあります。ご了承ください。

【 その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問合せください 】